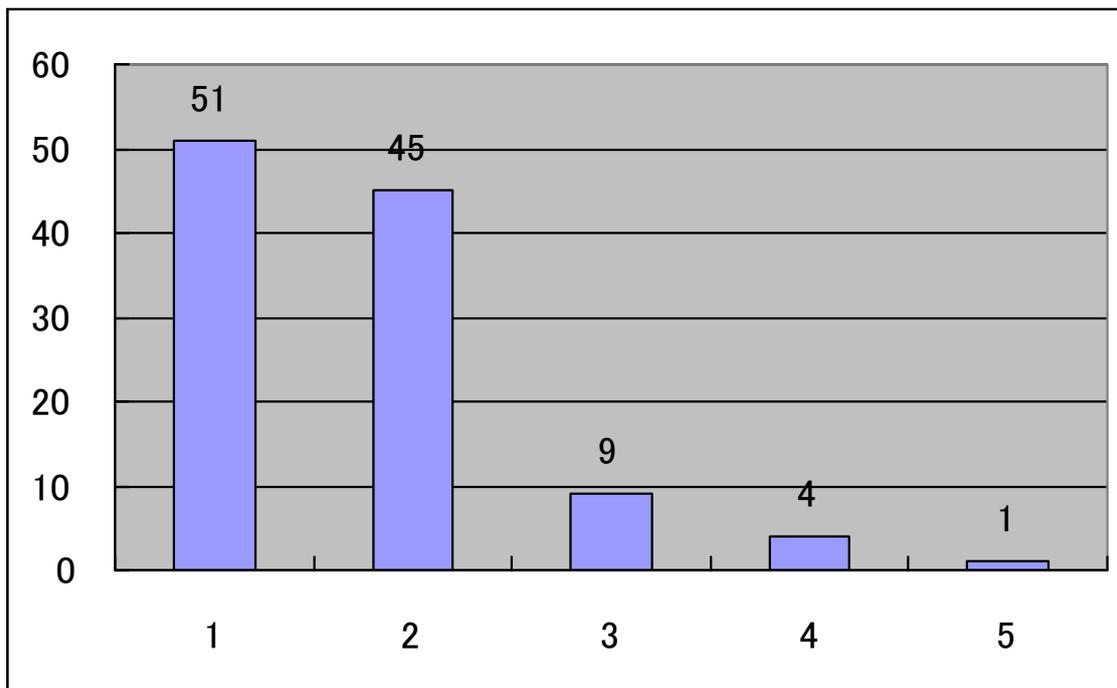


本校の教育プログラム『複合型もの創り工学』における学習・教育目標についてお尋ねいたします。付表「学習・教育目標とその評価方法および評価基準」を参考に、専攻科修了生に要求する能力について、目標ごとにご回答下さい。

A-1. 数学（微分積分学，線形代数，微分方程式，確率・統計など）と自然科学（物理，化学など）の基礎知識を身につけて，工学的諸問題の解決に応用できること。

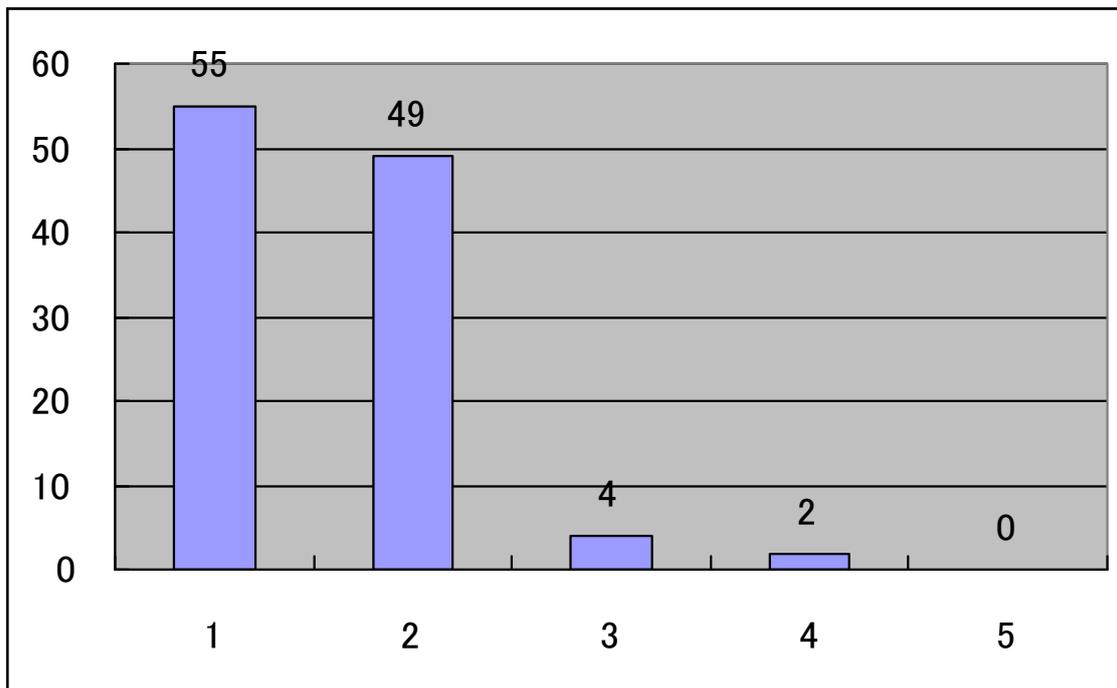
1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



回答は111件（一部，110件）。縦軸は会社・大学院数。以下，同様。

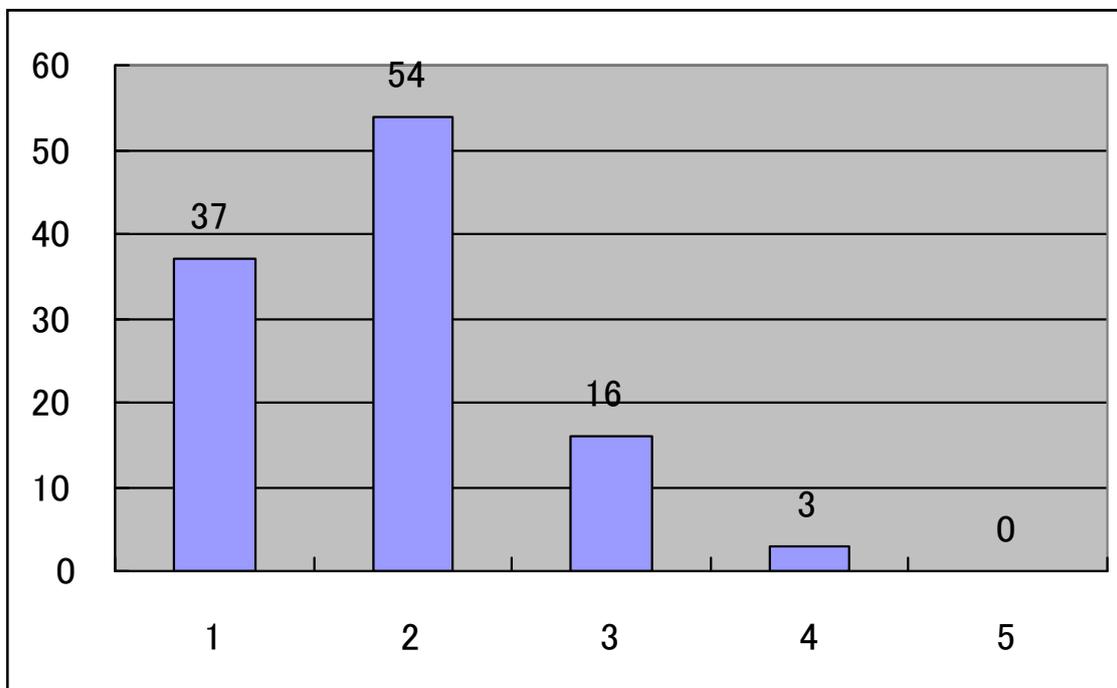
A-2. 情報技術の基礎知識を身につけて，情報収集，実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



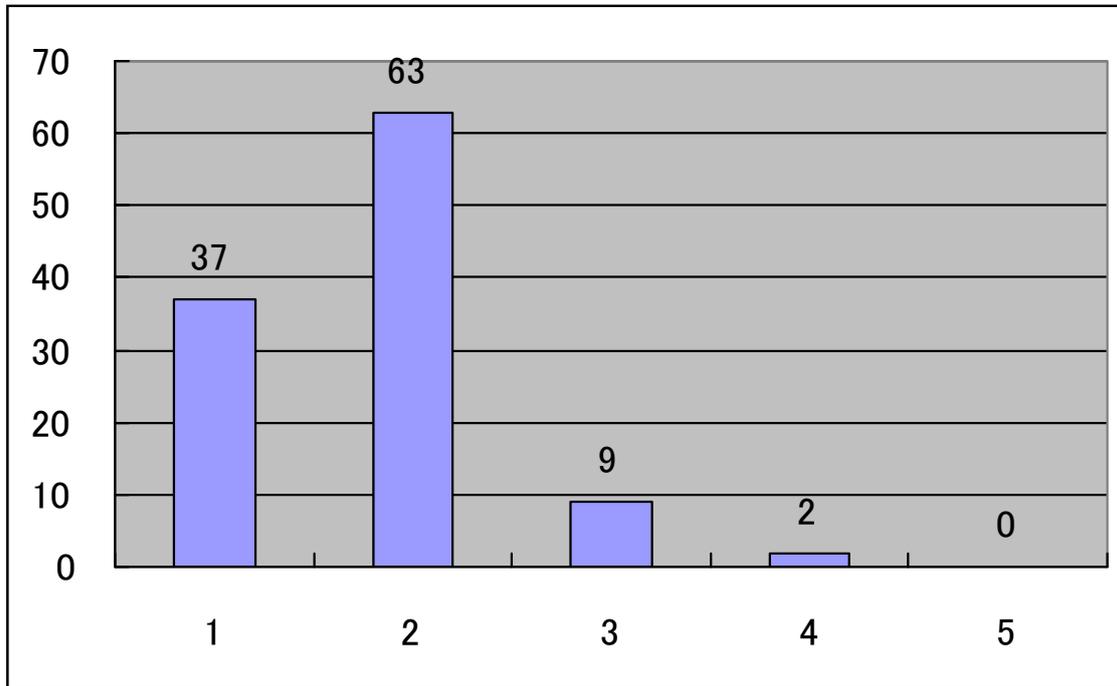
A-3. 基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



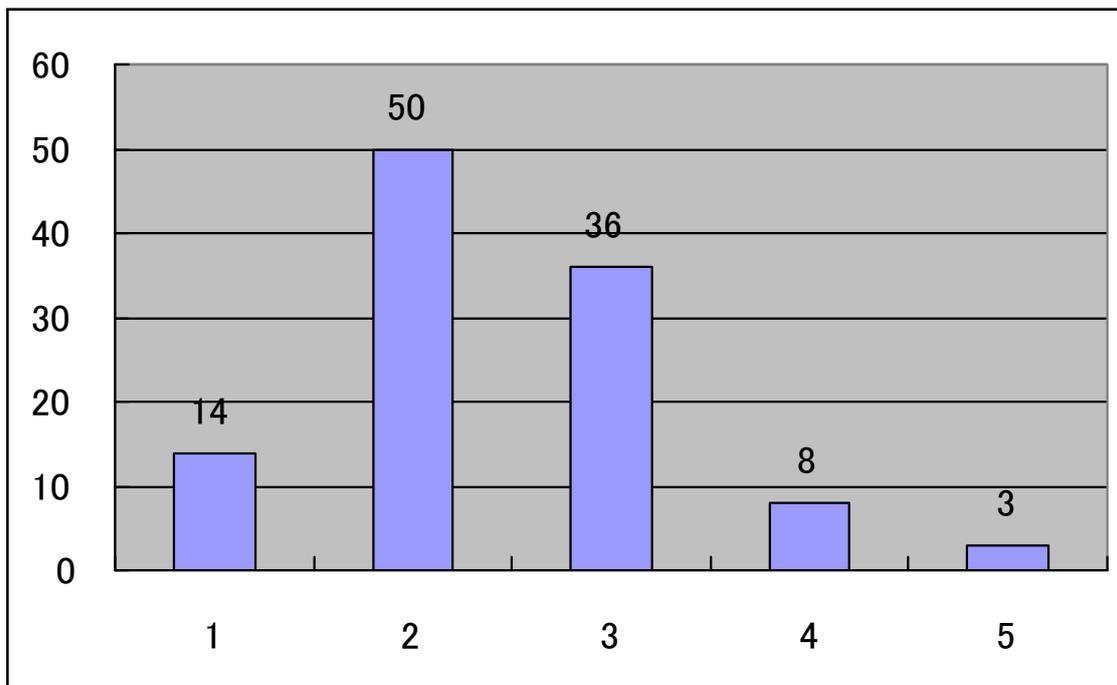
A-4. それぞれの専門分野におけるもの創りのための4つの専門科目群（材料・要素，設計・製造，評価・解析，複合系）の知識を身につけて，もの創りに応用できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



B-1. 他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができること。

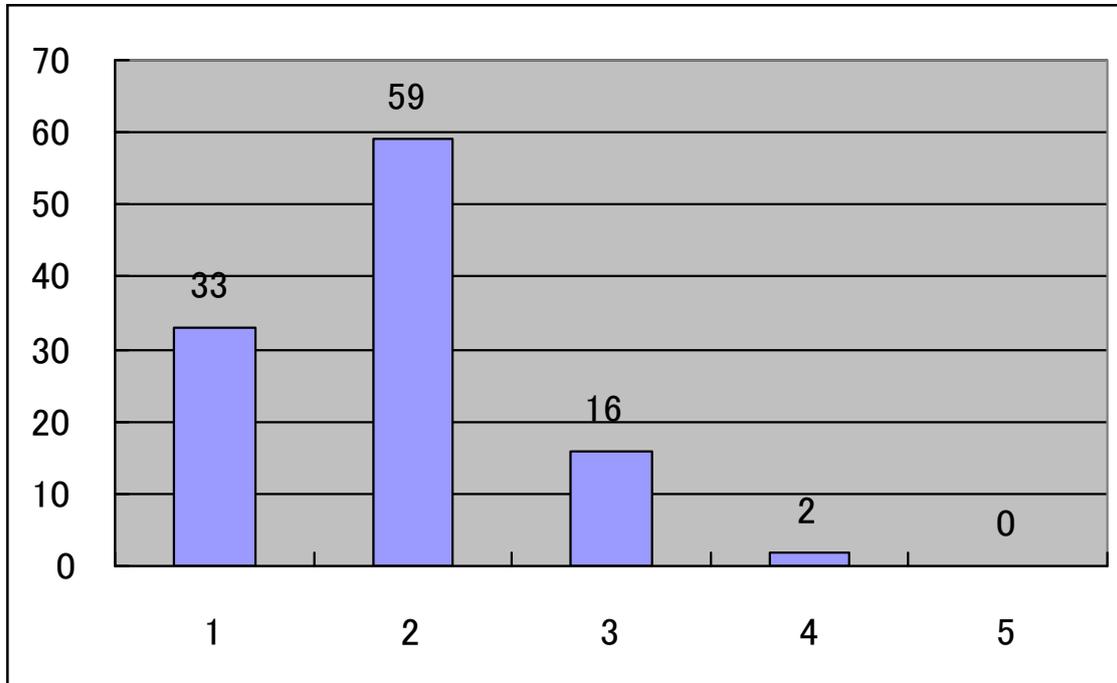
1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



B-2. 技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できる

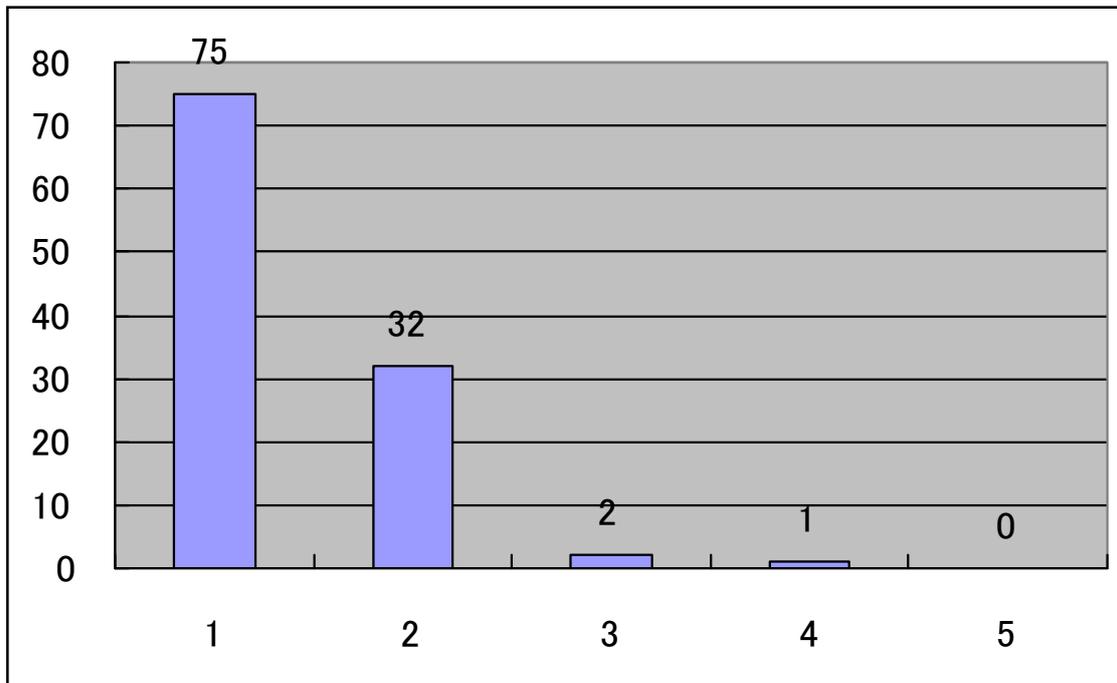
こと。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



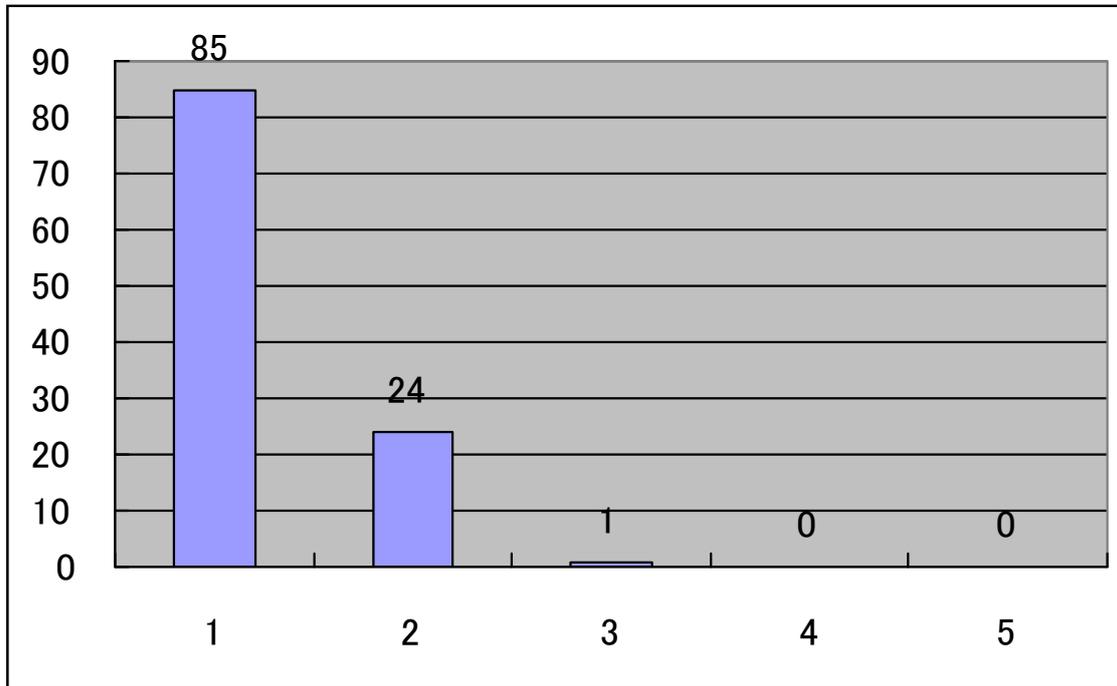
C-1. 技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



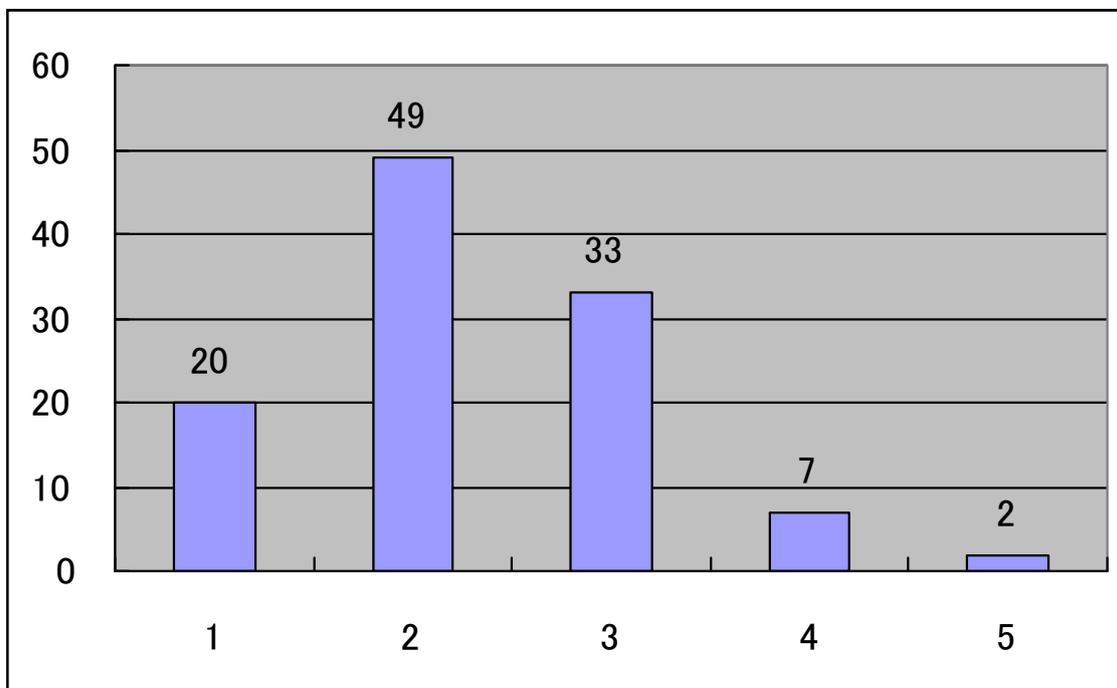
C-2. 相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



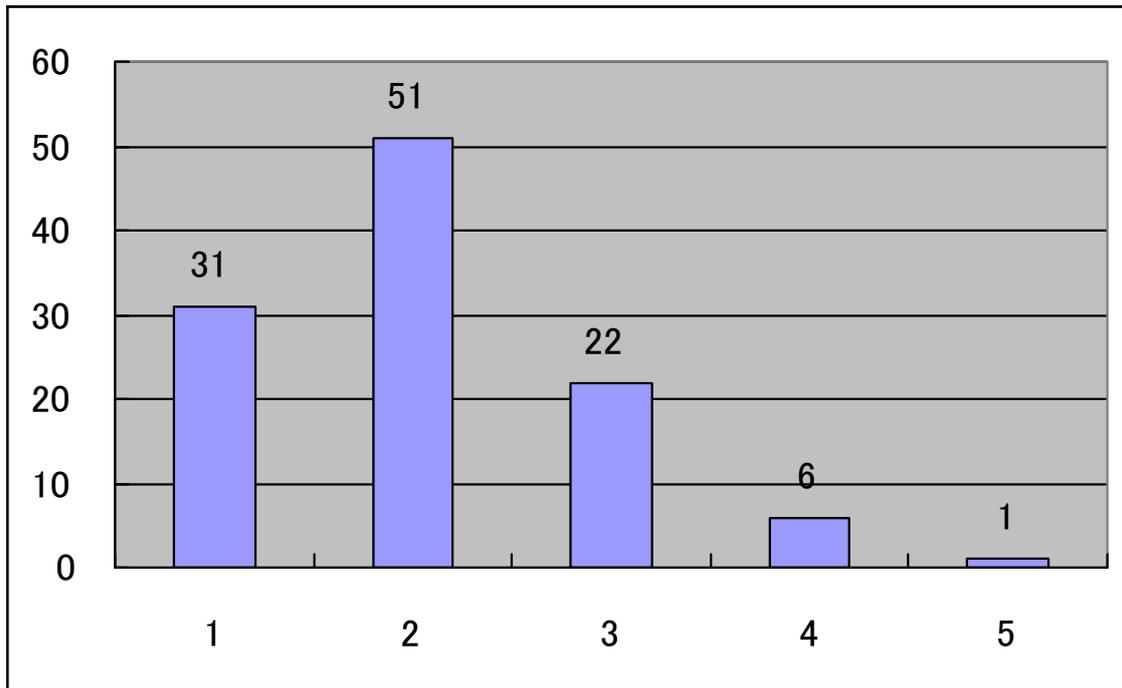
C-3. 英語による基礎的なコミュニケーションができること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



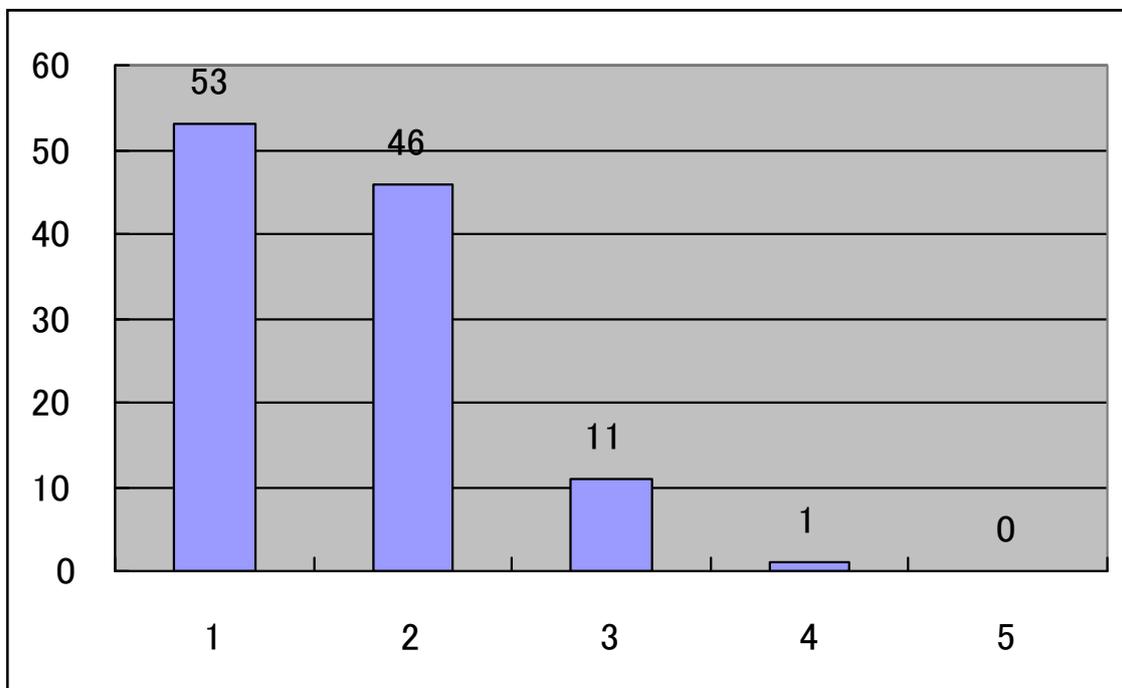
C-4. 基礎的な技術英語の文章を読み書きできること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



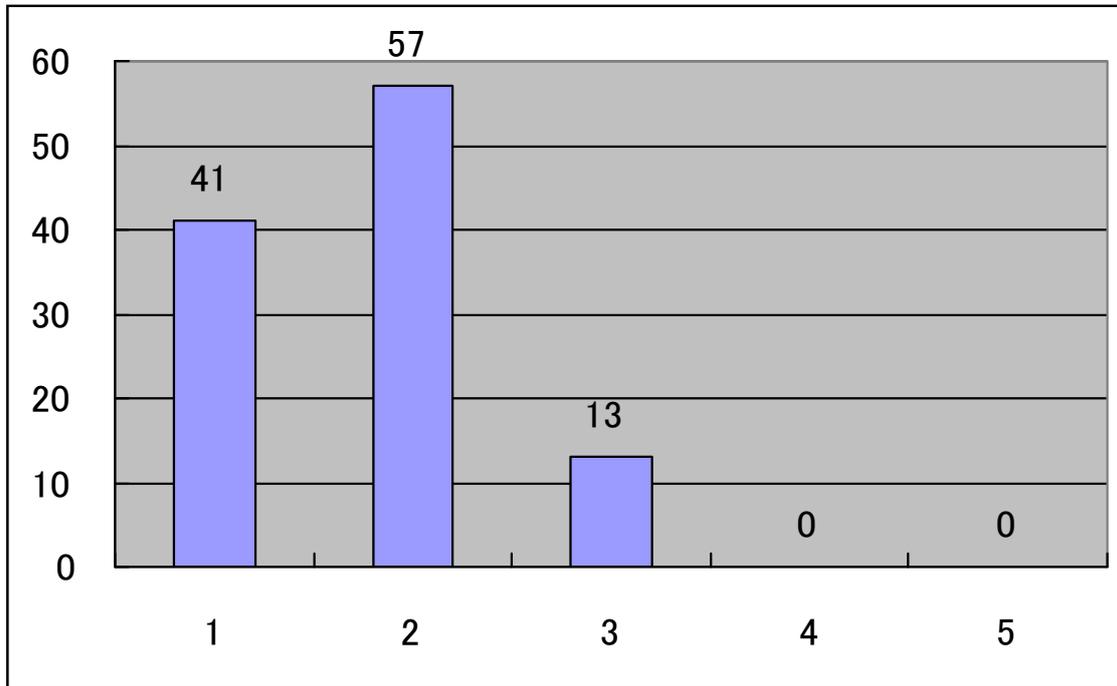
D-1. 自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施し，得られた結果を正しく評価・解析して考察し，論理的に説明できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



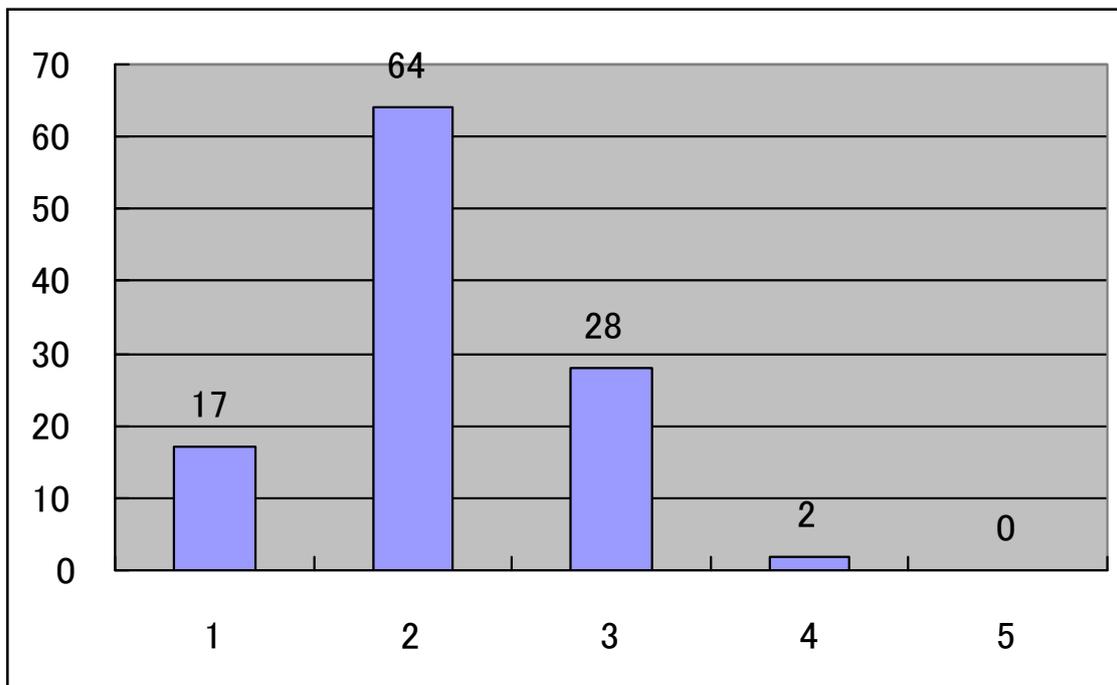
D-2. いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使するとともに創造性を発揮して，調査・解析をおこない，解決策を組み立てて実行し，課題を解決できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



D-3. 社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできること。

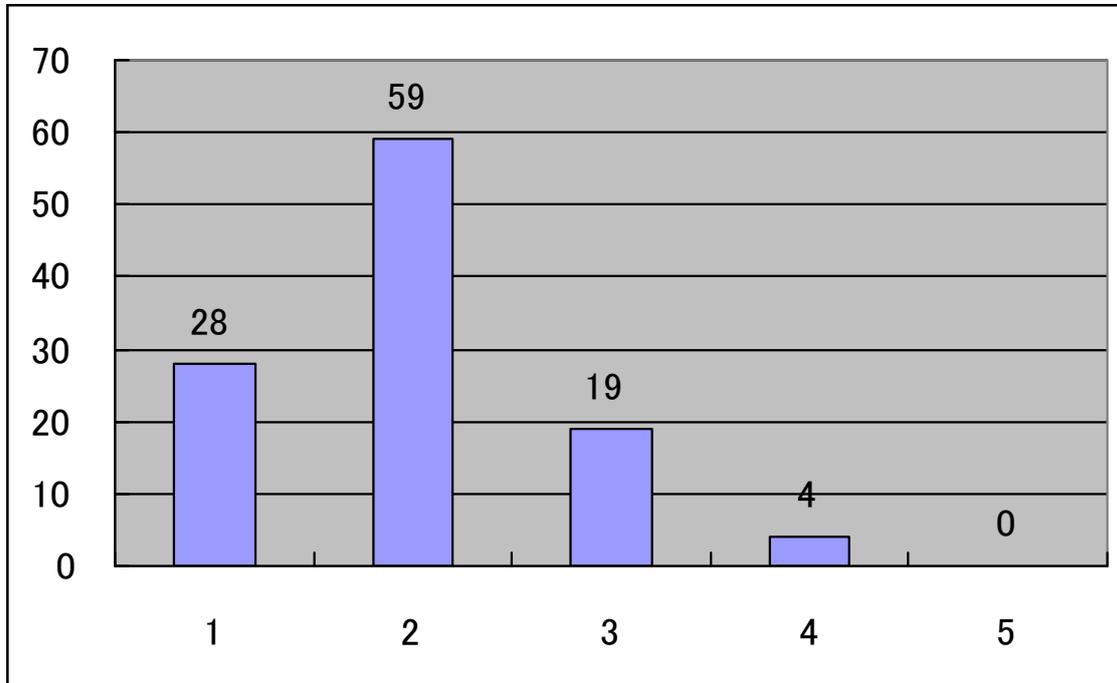
1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



D-4. 実験、実習、研究、インターンシップなどを通して実践的能力を身につけ、技術者が

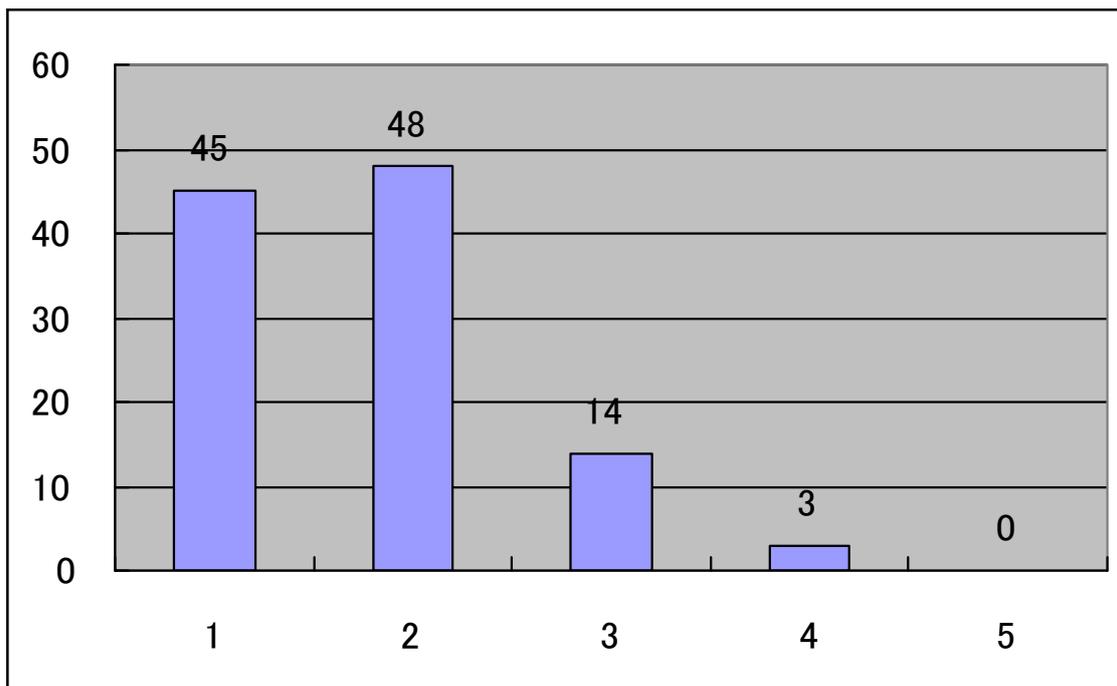
経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



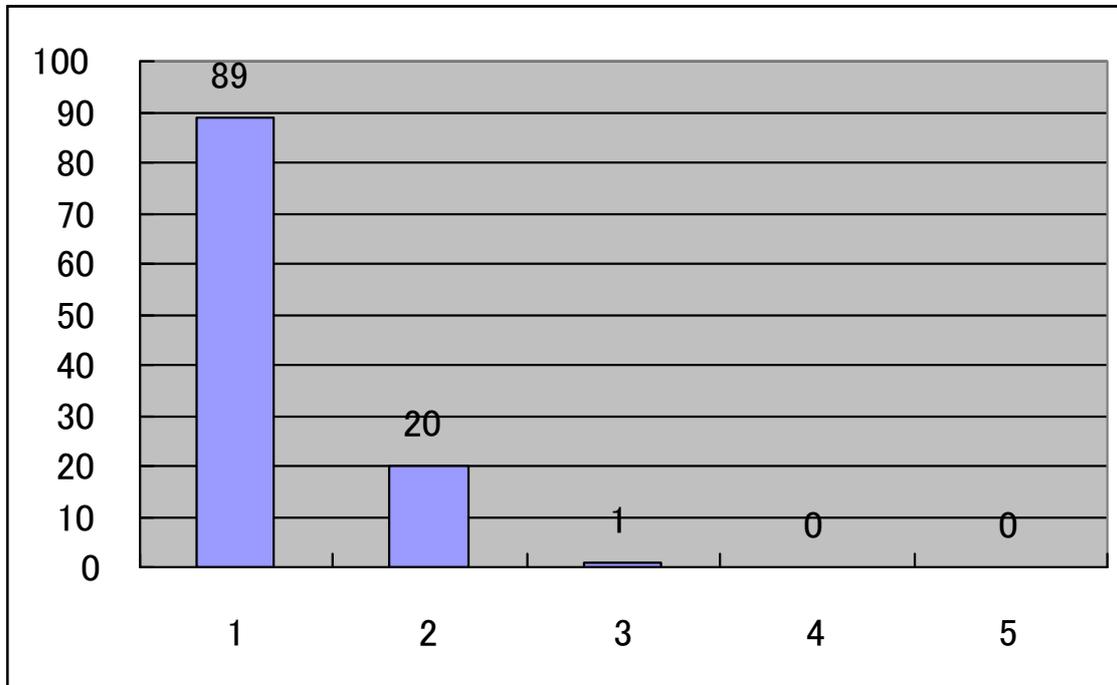
E-1. 社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



E-2. 要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない



E-3. 健全な心身を持ち、学内外（あるいは社内外）の人々と協調して行動できること。

1. ぜひ必要 2. ある程度は必要 3. どちらとも言えない 4. 殆ど必要ない 5. 必要ない

